



JF全漁連

新運動方針で「自己改革」

断行の組織基盤の確立が、中核的役割を担う。新運動方針は、JFと各都府県漁協の協力を軸に、水産物の流通・販路拡大を目指す。

「カルチャー改革」進める

マルハニチロ池見社長が年末会見。水産物の流通・販路拡大を目指す。カルチャー改革を進め、顧客満足度を高める。

急速な変化に対応

急変する市場環境。水産業者は、迅速な対応と新たな成長戦略を模索中。海外市場の拡大も視野に入る。

目地先沖合交渉、合意に至らず

日漁業協会と水産庁との交渉は、目下膠着状態が続いている。資源管理と漁業持続性のバランスが課題となっている。



シロアシエ年間110t生産 NTTG&F

磐田に陸上養殖プラント竣工。NTTグループとNTTG&Fが共同で、陸上でのシロアシエ(シロアヒ)の養殖を実現。年間生産量は約110トンに達した。

明太子特集 2~3 明太子特集 4~5

量販店向けの明太子製品の価格が高値維持で推移中、売れ行きは低調となっている。一方、福岡を中心とする土産市場は観光客やビジネス客などの増加に伴い、急速に回復している。

「信頼と誠実」 守谷エレベータ 守谷輸送機工業株式会社。信頼と誠実をモットーに、安全なエレベーターと輸送機を提供している。

「幸えび」と「福えび」を養殖

「福えび」は、約1カ月前に収穫開始。R&Sの水産流通センターで、品質向上に向けた取り組みが進められている。



ICFA総会 CITESへレター発出

「科学に立脚した意思決定を」。ICFA年次総会が開催され、持続可能な水産資源管理に関する決議が行われた。

酒井健氏(極洋) 元副社長 死去

酒井健氏(仮名)が、11月21日死去。70歳。水産業界の発展に貢献した。葬儀は12月14日(土)午後2時から、お別れ会は同日午後4時から。

海外事業拡大へ RHQを設置

海外事業の拡大に向け、RHQ(Regional Headquarters)を設置。アジア・オセアニア地域の市場開拓を推進する。

MN、家庭用食品 23日に値上げ

MN(マルハニチロ)が、家庭用食品の価格を23日に引き上げる。原材料高騰とコスト削減の必要性から決定された。

「エビテーマ」企業CM放映

水産物ブランドの強化を図る。エビをテーマにした企業CMを放映し、消費者への認知度を高める。

急変する市場環境

急変する市場環境。水産業者は、迅速な対応と新たな成長戦略を模索中。海外市場の拡大も視野に入る。

酒井健氏(極洋) 元副社長 死去

酒井健氏(仮名)が、11月21日死去。70歳。水産業界の発展に貢献した。葬儀は12月14日(土)午後2時から、お別れ会は同日午後4時から。

小杉直輝 著 『金をかけずにすぐできる! 食品工場改善入門 集大成』 好評発売中! 食品工場改善入門 集大成 小杉直輝 著

水野の 揚餡餅 塩麴の味。水野食品株式会社。揚餡餅の魅力を伝える広告。

水野の 揚餡餅 塩麴の味。水野食品株式会社。揚餡餅の魅力を伝える広告。